

科目名	機械技術演習	英語科目名	Exercise of Mechanical Engineering		
開講年度・学期	平成28年度 前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年		
授業形態	講義	必修 or 選択	選択		
単位数	1単位	単位種類	履修単位		
担当教員	機械工学科全教員	居室(もしくは所属)	機械工学科		
電話	各教員	E-mail	各教員		
授業の到達目標			授業の到達目標との対応		
			小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
演習や実技を伴う専門科目について、指導を受けながら、学生自らが学習計画を立て、演習や実技を繰り返し、深く学び、知識と技能を習得する。これを通じて、学生自らの学習態度や方法に気づかせ、主体的に学習する意欲を喚起する。			④	A	d-1
1. 学習計画を立てて主体的に学習できる。					
2. 基礎的な知識や技能を習得し、それらの関連がわかる。					
3. 学習成果を発表できる。					
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
1. 学習計画、発表能力、学習成果報告によって評価する。					
2. 指導教員がそれぞれ評価する。					
評価方法					
1～3. 受講態度、発表の内容により総合的に評価する。					
授業内容					
1. 担当教員と相談し、専門科目を選択する — (1週)					
2. 学生自らが選択した科目の学習計画を立て、指導教員と相談する — (2週)					
3. 演習と実技とを繰り返しながら学習する。 — (8週)					
4. 学生自らが正しい知識を効果的に学習できる演習問題を作成し、その効果の評価方法についても研究する — (2週)					
5. 学習成果を発表する。発表資料の作成 — (1週)					
6. 学習成果を報告書にまとめる。レポートの作成 — (1週)					
キーワード	創造性、基礎力の定着、学習方法				
教科書					
参考書					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目		各テーマによる			
現学年の関連科目		各テーマによる			
次年度以降の関連科目		各テーマによる			
連絡事項					
1. 科目担当教員の指導を受け、実技や演習を伴う第4学年までに学習した科目について学習計画を立て、学生が主体的に学習し、教員の試問を受け、基礎力を確認する。					
2. 学生自らが主体的な学習の大切さを認識し、学習に対する目的や取り組みに気づかせる。					
3. 自分の理解のレベルを認識し、どう学んだらよいか、自らが気づいてほしい。その時が自ら主体的に学習する好機となる。					
シラバス作成年月日	平成28年2月17日作成				